



～バイパスにより安心・安全な交通を確保～ 国道19号桜沢改良の整備効果

国道19号桜沢改良が令和3年11月28日(日)に開通し、冬季と梅雨期が経過し、下記の整備効果を確認しましたので公表致します。

<整備効果>

○交通状況の変化

旧国道19号を通行していた交通の**99%**が桜沢改良区間へ転換！

○安全性・信頼性の高いネットワークの構築

災害時の通行止めが無くなり、**安全性・信頼性の高いネットワークを構築！**

○安全な交通の確保

線形不良区間の回避により、**交通事故発生が減少し、安全な交通を確保！**

○沿線の生活・交通環境の改善

夜間大型車交通量が**大幅に減少し、地域住民の生活環境改善に寄与！**

ウォーキングをする**観光客の交通環境の改善に寄与！**

2. 記者発表資料 配付先

中部地方整備局記者クラブ、長野県会見場、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ

3. お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所

副所長 市川 英敏 (いちかわ ひでとし)

計画課長 稲本 恵一 (いなもと けいいち)

TEL 0265-53-7200 (代表)

メールアドレス cbr-ch-densi@mlit.go.jp

ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>

飯田国道事務所公式Twitterアカウント



https://twitter.com/mlit_iida/

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

国道19号 桜沢改良の事業概要

- 桜沢改良は、防災課題箇所の回避や交通安全を目的とした、長野県塩尻市大字さくらざわにえかわから長野県塩尻市大字しおじり宗賀そうがに至る延長2.1kmの改良事業です。
- 平成19年度に事業化し、令和3年11月28日に全線開通となりました。

■ 桜沢改良の位置図



■ 現況写真



① 起点側坑口部 (R4.8撮影)

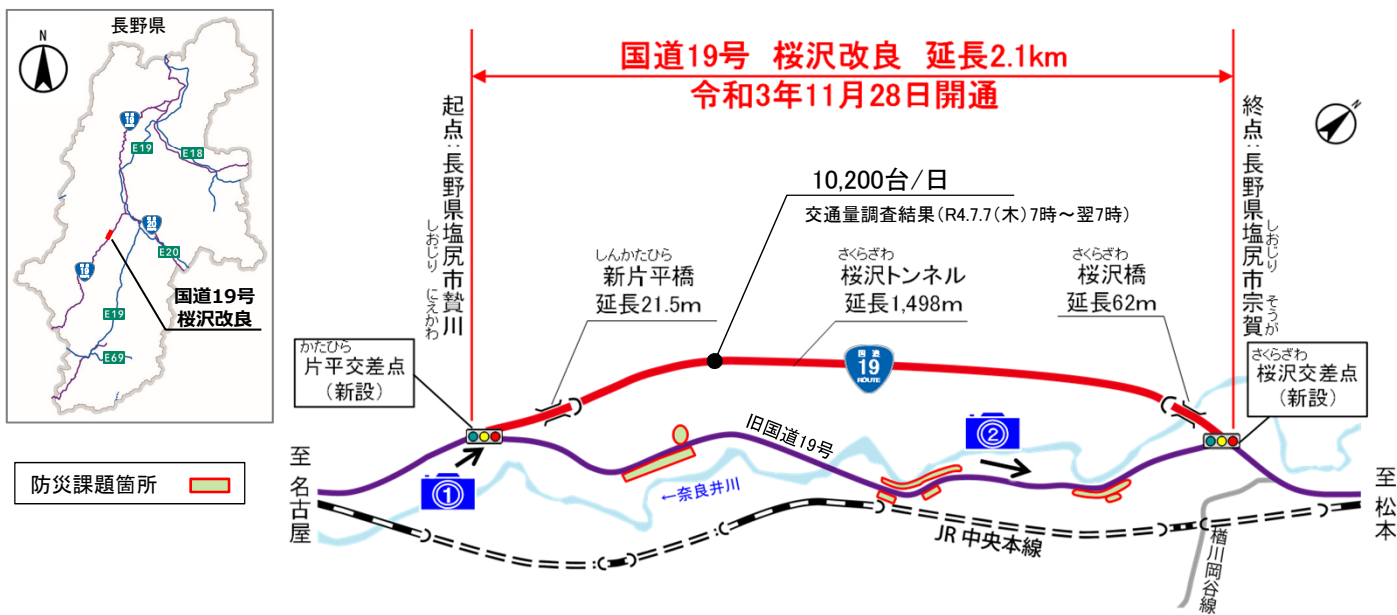


② 終点側坑口部 (R4.8撮影)

開通後の交通状況

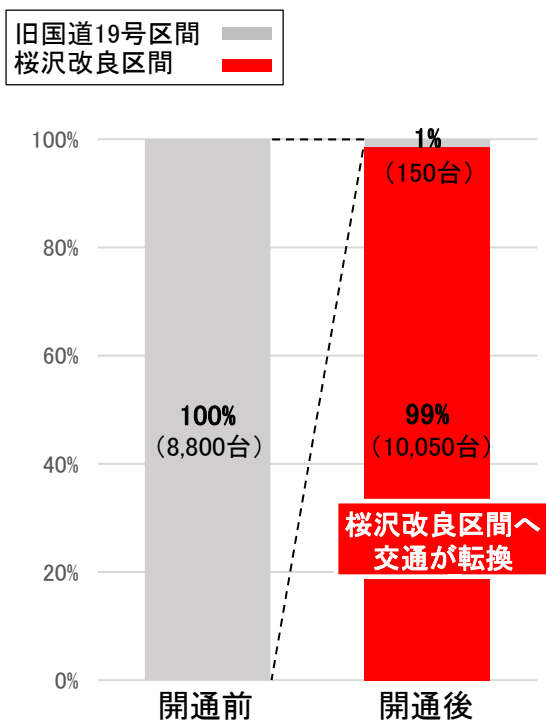
■ 令和3年11月28日の開通後、旧国道19号を通行していた交通の99%が、桜沢改良区間へ転換しています。

■ 桜沢改良の位置図



■ 開通前後の状況

■ 開通前後の利用割合



【調査日】
開通前：令和3年11月16日(火)7時~翌7時
開通後：令和4年7月7日(木)7時~翌7時

① 開通後の利用状況



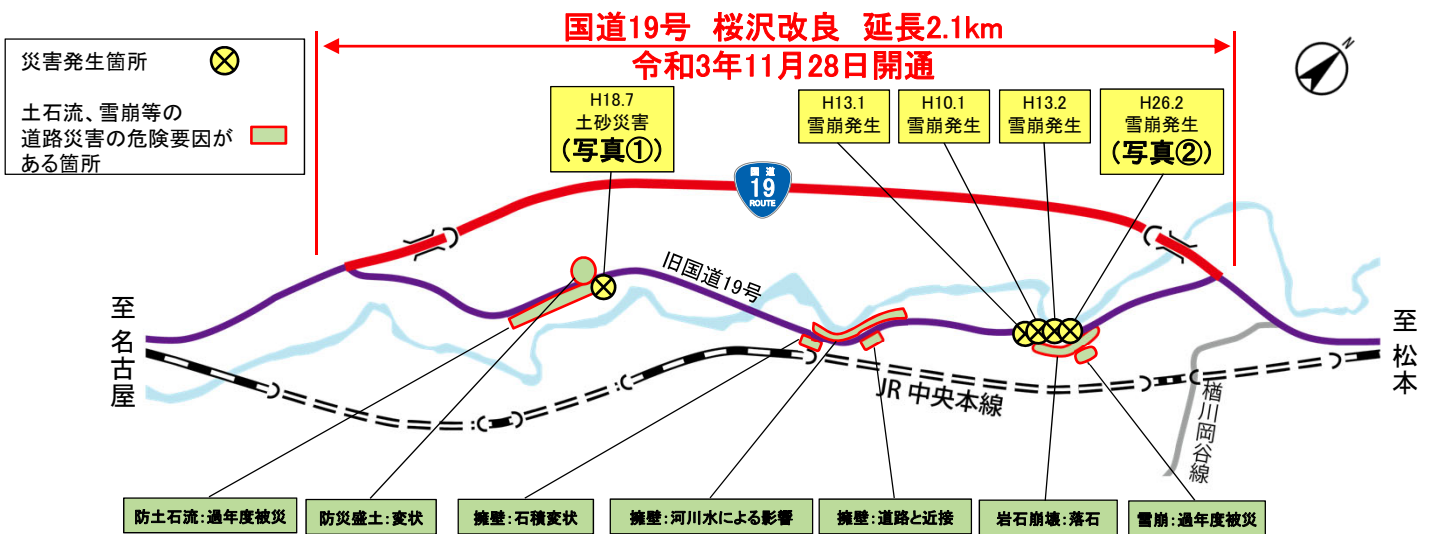
② 旧国道19号の状況



安全性・信頼性の高いネットワークを構築

- 旧国道19号の区間には、土石流、雪崩等の道路災害の危険要因がある箇所が、7箇所存在します。
- 過去には、土石流や大雪による雪崩等により全面通行止めが発生していました。
- また当該区間には並行する迂回路がなく、災害発生時の医療施設への搬送は、広域的な迂回をする必要がありました。
- 開通後、2月に大雪がありましたが行き止まりはなく、医療施設への搬送経路が確保され、安全性・信頼性の高いネットワークが構築されました。

旧国道19号区間の課題箇所



旧国道19号区間の災害履歴と開通効果

過去の災害履歴

写真①:大出水・冠水/土石流発生(H18.7)
約4時間全面通行止め

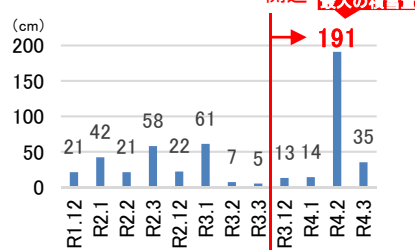


写真②:大雪による雪崩発生(H26.2)
約27時間全面通行止め

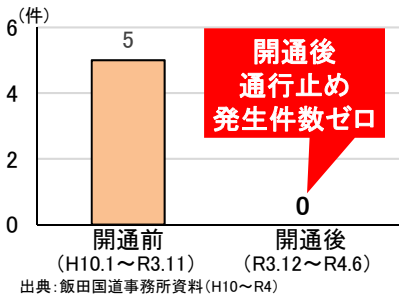


開通後の状況

【開通後の積雪状況】



【通行止め実績】(桜沢改良及び並行区間)



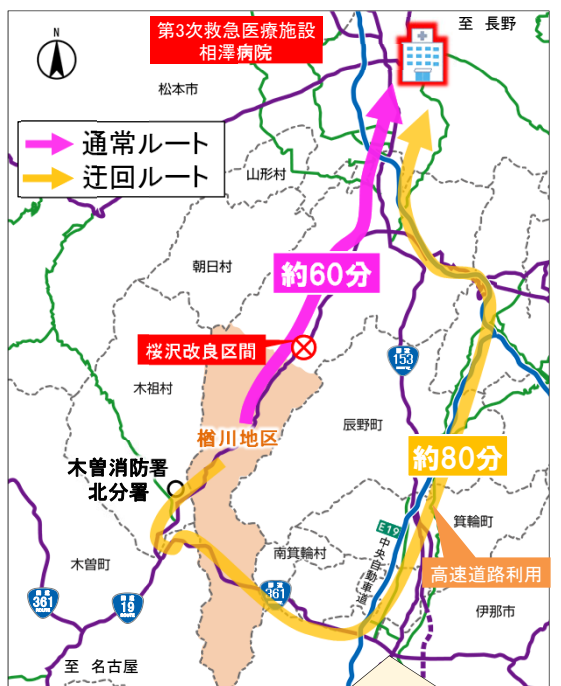
【消防署の声】

・災害時に迂回を強いられたり、搬送先病院の選択肢が減ったりすることがないという安心感があります。

(R4.2.27 木曾広域消防本部にアヒリング)



【医療施設への搬送経路】



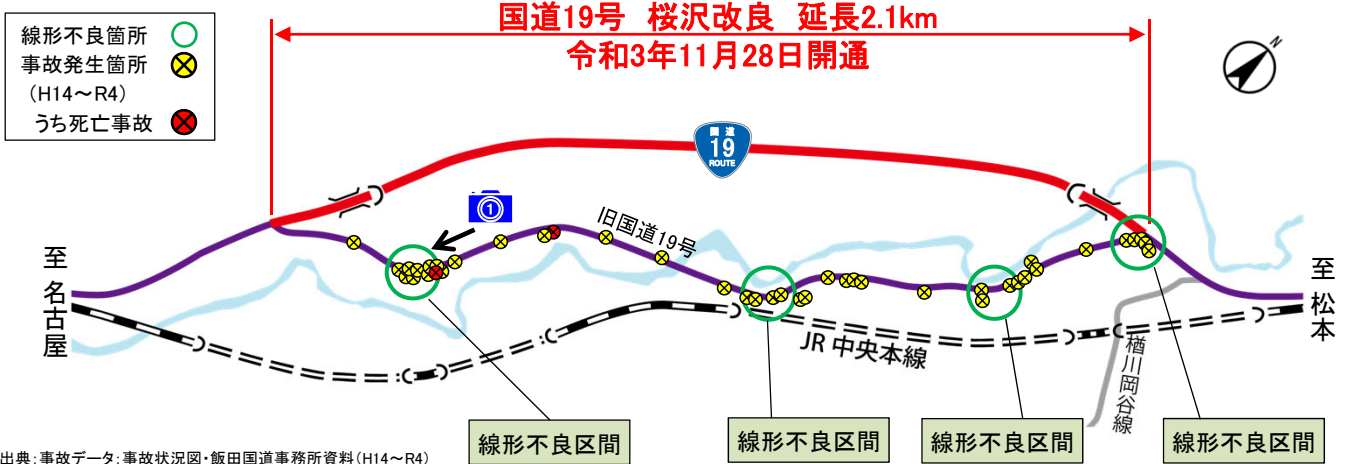
通行止め発生時には、国道19号に並行する迂回路はないため、伊那方面からの迂回を余儀なくされる

安全な交通の確保

- 旧国道19号の区間には、線形不良箇所※が存在し、衝突事故や追突事故等が多く発生し、事故に伴う交通規制も実施していました。
- また冬季には路面凍結によるスリップ事故も発生しています。
- 桜沢改良の開通後、線形不良区間を回避することができるようになり、事故発生件数が減少し、安全な交通が確保されました。

※曲線半径100m未満のカーブがきつい箇所

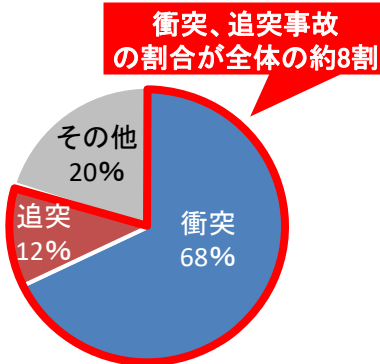
■旧国道19号区間の事故発生箇所



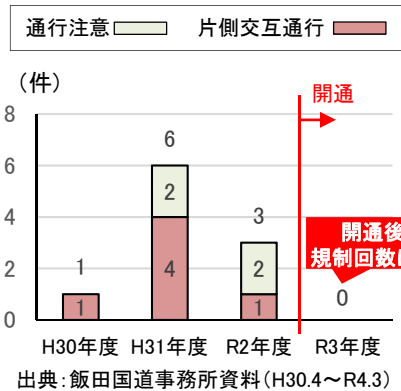
■交通事故発生状況

■旧国道19号の事故分類と交通規制件数

【事故分類】

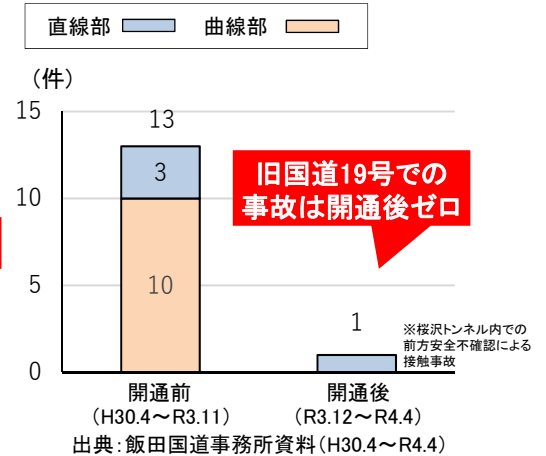


【規制回数】



■開通前後の交通事故件数

(旧国道19号区間及び桜沢改良区間)



■冬季に発生した事故の例

① 路面凍結によるスリップ事故



- ・路面凍結により、大型車のスリップ事故が発生
- ・片側通行規制を実施

【地域住民の声】

- ・雨や雪や路面凍結により、大型車のスリップが発生したり、バイク事故で死亡者が出ることもありましたが、開通後はそのような不安がなくなりました。
- ・この冬は雪も多かったですが、通行止めもなく当たり前通行できるようになりました。



(R4.4.27 地域住民ヒアリング)

沿線の生活・交通環境の改善

- 旧国道19号には民家が連坦しており、地域住民の生活道路として旧国道19号が利用されています。
- 旧国道19号の12時間交通量(夜間)は約2,400台であり、大型車混入率が40%以上(長野県平均29%)でしたが、開通後は交通が桜沢改良区間へ転換したことにより、地域住民の生活環境や、ウォーキング等の観光客の交通環境が改善しました。

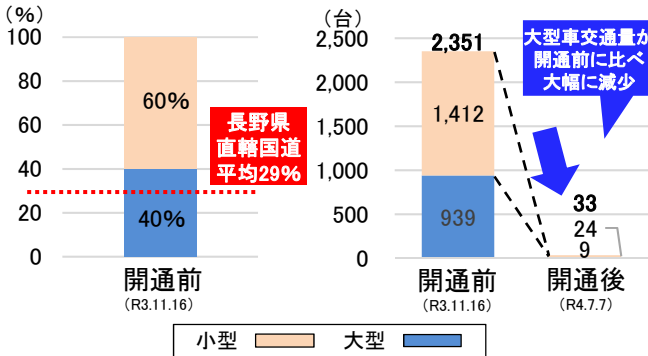
■旧国道19号区間の民家連坦状況



■旧国道19号の大型車交通量

■旧国道19号(断面①)の交通量と大型車混入率

【大型車混入率(夜間)】 【12時間交通量(夜間)】 ① 民家の近傍を走行する大型車



【地域住民の声】

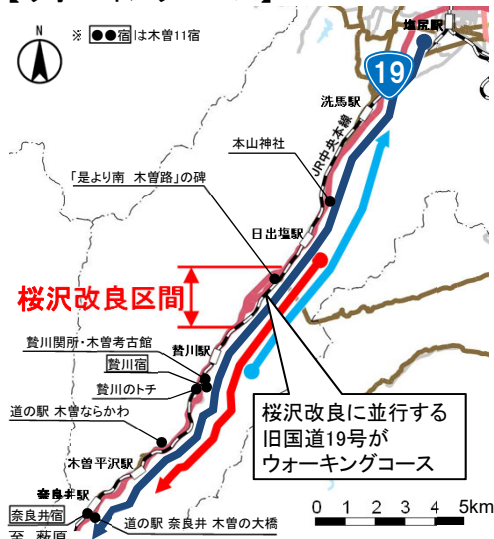
・桜沢改良ができて旧国道19号を大型車が通行することがなくなり静かになりました。



(R4.4.27 地域住民ヒアリング)

■中山道のウォーキングツアー実施状況

【ウォーキングコース】



【ツアー概要】

▼奈良井宿

- ・中山道木曾路を数日に分けてウォーキング
- ・麓川宿や奈良井宿といった木曾11宿や、寺社・資料館へ立ち寄りながら、中山道を歩く

	ツアー名	催行月	桜沢を通過する行程の発着地
	街道を歩く2022	9月	麓川駅→洗馬駅
	中山道をあるく	9月	塩尻→藪原
	日本遺産・中山道木曾路街道歩き	4月	日出塩→木曾平沢

ウォーキング中の観光客



【地域住民の声】

・中山道のウォーキングを楽しむ観光客も多いですが、大型車がいなくなったため、より安全にウォーキングを楽しめると思います。



(R4.4.27 地域住民ヒアリング)